

むさしNet

(発行)

*働きやすい職場をめざす

(連絡先) ルネサス武蔵の会

*東村山市恩多町3-11-18 谷口利男

*電話・FAX ; 042-394-0937

*メール; musashinet@jcom.home.ne.jp

*要望・意見を気軽にお寄せ下さい。

不安だらけで経営再建が出来るのか!

新会社設立過程に「瑕疵」が存在

ルネサスエレクトロニクス株式会社(代表取締役会長兼CEO 作田 久男、以下、当社)は、2月19日開催の取締役会において、当社および国内の当社子会社を当事者とする吸収分割および吸収合併により、グループ(製造関連)再編を行うことを決議いたしました。と発表しています。

商法等の一部を改正する法律(平成十二年法律第九十号)附則(労働契約の取扱いに関する措置)第五条 会社法(平成十七年法律

かし

第八十六号)の規定に基づく会社分割に伴う労働契約の承継等については、会社分割をする会社は、会社分割に伴う労働契約の承継等に関する法律(平成十二年法律第百三十三号)第二条第一項の規定による通知をすべき日まで、労働

育児介護での転勤で「配慮義務」あり

一方で当社の生産本部に在籍する者、当社の生産本部の在籍者以外で、本件再編により移籍を予定している者、当社生産本部が管轄

者と協議をするものとする。

職場では、個々の労働者との協議が義務付けられていますが、3月5日に一方的に「通知書」を届けられ、異議申出期限を3月19日としてきただけでした。

こうした事は、新会社設立過程で「瑕疵」があったと言えます。

する国内関係会社に在籍する者を2月28日から3月7日までの期間で早期退職を募集しました。

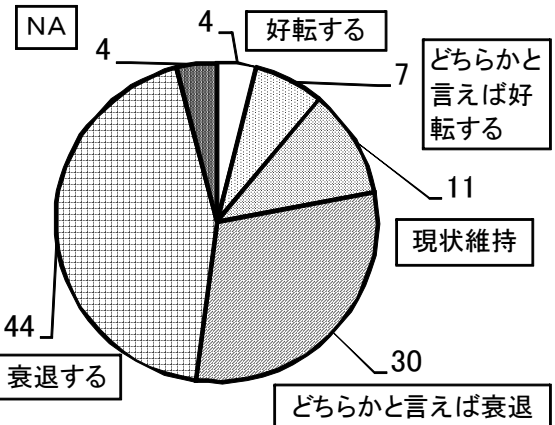
育児・介護休業法26条では「事業者が労働者を転勤させる場合、育児・介護の状況に配慮しなければならぬ」とされています。

現実には、母子家庭や介護をしている、高崎や那珂工場に転勤ができないと多くの方が早期退職

「変革プラン」緊急アンケート

ルネサス懇は2月20日から1ヶ月余WEBサイトで行なった「変革プラン」緊急アンケートに寄せられた内容を分析し、変革プランによりルネサスの事業はどうなると思いますか?に対して次の結果となりました。

事業はどうなる?



減額された賃金分戻してほしい

パナソニックは業績改善を受け4月に特別給与を社員に支給します。2013年度に一般社員の賞与を削減した分の一部を「経営協力感謝金」(総額は約100億円の見込み)として給与に上乘せると発表しました。

14春闘の一時金妥結水準

電機連合は、14春闘で「賃金改善額2000円」「産業別最低賃金(18歳見合い)を1500円増額」を統一闘争で実現させました。年間一時金を団体交渉では、日立・三菱電機などは次表の様な月数を獲得しています。

	13年結論	14年結論	増率
三菱電機	5.22	5.74	10.0
日立	5.35	5.62	5.0

を選択されています。

ルネサスでは、2012年1月から2年余「賃金7・5%減額」「一時金の不支給」等生活苦が続いてきました。職場では「経営の為に減額された分は戻せる様に労使交渉してほしい」などの声が出されています。

職場だより

（日立超し） 職場に新しい変化

（日立超し）は、長引く業績不振により昨年半導体デバイス事業からの撤退を行い、約半数の社員が会社を去りました。日立の半導体事業の発展とともに歩んできた（日立超し）にとっては、会社の歴史上最も大きな転換となりました。

それから一年が経過し、4月1日付けで、秋田電子システムズとの合併が行われました。また、（日立超し）が今年6月に

絆を破壊する経営者

東日本大震災から3年が経過しました。震災以降、家族と共に居られる時間を大切にすることが増えたと言います。玉川でも、この3月から4月にかけて、お子さんの卒業式や入学式などで休暇を取る人が大勢いました。家族と一緒にいられる幸せと言うのは、掛け替えのないものです。しかし、会社が計画している事業所閉鎖と大規模広域転勤によって、これからたくさんの人の家族の絆が、ずたずたにされようとしています。作田会長は要するに、「家族の絆が壊れるリスクがあると思っている人は辞めてもらって結構、仕事でワクワク出来さえすれば、絆など必要ないと言う人だけ来てくれれば良い」とでも考えているのでしょうか。（投稿）

日立の情報・通信システムグループに所属することが発表されました。

半導体デバイス事業から撤退し、組み込みシステム・ソフトウェア事業を中心に事業の立て直しを図っている（日立超し）にとっては歓迎すべきことだと思えます。これを契機に業績回復の軌道に乗ることを期待します。

（会社説明会） 残念に感じた内容

3月26日（水）午後、武蔵事業所「多目的ホール」で全就業者を対象に作田会長と大村E V

Pによる「会社説明会」を2回に別けて開催されました。

この説明会に出席された方々から多くの意見や感想が寄せられており、その一部ですがお知らせします。
* 「マインドを変えて業務を行うのは歓迎ですが、相変わらず縮小均衡策しか聞けず、残念でした」
* 「作田会長の話しを聞いて全体的には人ごと感を感じました。ワクワクする人は残りなさいと言っているわりには、ワクワクする話が見当たりません。トップには夢も語って欲しいです」
* 「多分おそらく設計者だと思っただけでも、この方が作田会長に直接質問を投げかけました。しかし作田会長の返答は的外れなことを言っており、話をそらされたから非常に残念に思います。貴重な意見だと言うのに何故でしょうか？」

* 「最後に皆さんから作田会長に対して拍手を送りました。従業員自体を虫けらと思ってるようなリストラ”人間”に拍手は無用と感じました」
さらに、皆さんからの意見や感想を頂ければ幸いです。

（むさしNet編集部）

絵手紙でのご挨拶



休憩室

◆ 「三陸鉄道再開」
大漁旗が出迎える
明るいニュースです

◆ 「消費税8%に増税」
生活にズーンと重く
賃上げも追いつかない

◆ 「みんなの党代表辞任」
前都知事とはケタ違い
辞任だけですませない

◆ 「憲法の解釈改憲」
戦争する国へのしくみ
平和憲法を守るう

編集後記

4月1日付けで新製造会社社が前・後工程の2社が設立され、生産本部を中心に転勤できないと思われた方々が3月末で696人が早期退職される事態となりました。武蔵事業所には、2800人が転勤として来られ、400人が転勤となり、総数4700人と建物に入りきれない状態と言え、広域転勤は、退職をさせる”フルイ落とす”役割と言えそうです。（T）